

「新・総合特別事業計画説明会」主なQ&A

【今後の電気料金について】

Q：柏崎刈羽原子力発電所の再稼働が新・総合特別事業計画で仮定した時期から大きく遅れる場合、電気料金の再値上げはあるのですか。

A：再稼働が、新・総合特別事業計画で仮定した時期からどのような理由で遅れるかによって、再値上げについての判断は変わってきます。できれば再値上げは回避したいと思っておりますが、柏崎刈羽原子力発電所の状況や更なるコストダウンの状況を鑑みながら、判断してまいります。

【包括的アライアンスについて】

Q：火力リブレースについて、どのような包括的アライアンスを実施するのですか。

A：当社とパートナーとの間で戦略的な共有ができることが前提となります。LNG調達については、パートナーと丁寧な協議を行いながら、上流分野だけでなく、燃料関係のインフラも併せた政策を実施してまいりたいと考えています。

【今後の社債による資金調達について】

Q：2016年度の公募社債市場への復帰を目指すにあたり、具体的な基準となる数値目標はありますか。

A：自己資本比率が基準になると考えています。

Q：ホールディングカンパニー制へ移行するにあたり、なぜ各事業子会社が連帯債務または連帯保証を負担しないという仕組みを採用したのですか。

A：福島の実現を果たすとともに、競争に勝ち残っていくためには、各事業子会社が成長し、企業価値を高めていかななくてはならないという観点から、今回の仕組みを採用いたしました。

以上